

令和7年度新規採用職員等 市民協働研修実施報告

1 概要

市民協働の基本概念と行政の役割を理解するため、新規採用職員を対象に毎年実施しているもの。今年度は、地域団体との協働を現場で体験的に学ぶため、「舞ミライ会議」が実施する「こども食堂」の取組を学んだ。「舞ミライ会議」が実施するこども食堂の取組を通じて、地域課題の把握や住民主体の活動の実際を学ぶため新規採用職員が、配属先を問わず市民協働の視点を業務に生かすことを目的として実施した。

【実施日時】 令和7年11月5日（水）

【対象】 令和6年度中途採用職員、令和7年度新規採用職員のうち10名

【内容】 舞ミライ会議ご担当者による講義、こども食堂見学

2 研修内容

(1) 講義（舞ミライ会議ご担当者）

団体設立の経緯、こども食堂の運営体制、行政とのこれまでの連携状況等

(2) こども食堂の見学

準備の様子を見学

3 成果

- ・地域の皆さんが自分たちで地域の課題を抽出し、積極的に取り組んでいく姿を認識した。
- ・こども食堂が単なる食事の提供にとどまらず、「子どもたちの見守り」として機能していることを学んだ。
- ・自身の所属にかかわらず、地域や団体と連携する意義や、庁内で情報共有する必要性について認識を深めた。

4 今後の課題

こども食堂をはじめとする地域の取組や課題を庁内で共有し、市民協働の視点を組織全体に広げていくことが今後の課題である。

5 アンケート結果の概要

参加職員10名全員から現場見学は有効であり、今後の実務に活かせるとの回答があった。具体的には、「地域の皆さんが将来のことを考え様々な事業に力を入れているところを見ると、行政職員として市民への寄り添い方を見直すきっかけとなった」「市ではなく市民の活動だからこそできることがあり、また、行政が行き届いていないところをフォローしていることを知り、相互に協力し、解決に向けて取り組む必要性を感じた」といった前向きな意見が多くみられた。